

受験 番号	
氏名	

問題一 次の文を読み、後の設問に答えなさい。

行動分析学 (Behavior Analysis) は、応用行動分析 (Applied Behavior Analysis: ABA) の^かキソ理論である。ABAは^きハツタツ障がいのある子どもたちの指導に最も効果的な指導法のひとつとして、言語指導においても大きな成果を挙げてきた。しかし行動分析学が言語行動の^あ獲得の必要十分条件を^くカイメイできたわけではない。ヒトが言語行動をその進化のプロセスのなかでどのように獲得してきたかについては、未だに多くの^けナゾが残っている。

行動分析学の^こトクチョウは、行動を機能という観点からとらえていることにある。^A、行動と環境の相互作用という視点から分析することに研究の^い焦点が当てられている。このことは言語行動を考えていく際に重要な視点となる。

^B、ある人が「暑いね」という言葉を言う場面を考えてみよう。この言葉が環境に与える影響（つまり機能）は、どのようなものだろうか。聞き手が「そうですね、暑いですね」と答える場合もあるだろうし、クーラーのスイッチを入れるという行動をする場合もあるだろう。この2つの場合、「暑いね」という同じ形態をもつ言葉が聞き手に異なる影響を及ぼしていると考えることがができる。

^A行動の形態が異なっても同一の機能をもつ場合もある。「クーラーつけて」という言葉と「暑いね」という言葉は時には同一の機能をもつことがあるだろう。電源の入っていないクーラーをじっと見ると見るという行動も、聞き手にクーラーのスイッチを入れさせるかもしれない。その場合、同一の機能をもつこれらの行動（「クーラーつけて」、「暑いね」、クーラーを見る）は、機能的に同一の行動である。

^B話し手の「暑いね」という言葉は、聞き手の応答とセットにして分析することで初めてその機能が明らかになる。まだ言葉を話しはじめる前の段階の赤ん坊たちも視線やちよつとした動作を使って、言葉を話すことと同じ機能を獲得し、その後音声言語に移行していく。したがって言語行動の指導は、言語行動の形態や言葉の辞書的な意味をどう教えるかではなく、言語行動の機能をどう教えるかにある。

機能という観点から考えると、「アー」という発声を聞いた母親があるときは微笑を返し、あるときは一緒に外出をし、またあるときはトイレに連れて行くというような結果をもたらす場合、この「アー」という発声はさまざまな機能をもっていることになる。^Cしかし、この発声がより一般的に通用する言葉となっていくには、より多くの人が理解できる（共有された）形態となる必要がある。

言語行動は、事物を別のもので指し示すことで成り立っている。日本人は林檎を「りんご」と呼ぶことを共有している。^C英語を話すコミュニティのなかではappleで、ドイツ語を話す人たちのなかではapfelである。日本人は昔からを「りんご」と呼ぶことに決めてきた（共有してきた）のである。別にそれは「ごんり」でもよかったのかもしれない。では、今日から私は林檎を「ごんり」と呼ぶことに決め、それを使用したとしたらうまくいくだろうか。^D「ごんり」という言葉には周囲の聞き手が反応しないため、決してうまくいかないだろう。

^D2つの重要な点が含まれている。1つは、^う事物とそれを指し示す言葉との関係は^え任意に決められたもの（恣意的に決定された）であるという点で、もう1つは、^お恣意的でありながらも、あるコミュニティのなかでうまく機能するかどうかによって^お淘汰されていくという点である。

（谷晋一（2012）『はじめはみんな話せない』金剛出版による。

但し、一部省略・変更した）

問一 傍線部あ―おの漢字の読み方をひらがなで書きなさい
あ 獲得 い 焦点 う 事物 え 任意 お 淘汰

問二 傍線部か―このカタカナを適切な漢字に楷書で直しなさい
か キソ き ハッタツ く カイメイ け ナゾ こ トクチョウ

問三 本文中のAからDに入る最も適切な語句をそれぞれ次の中から選び、番号で答えなさい。
① このことには

② もちろん

③ つまり

④ たとえば

⑤ しかし

問四 波線部A「行動の形態が異なっても同一の機能をもつ場合もある。」とある。行動の形態が異なっており、なおかつ機能的に同一の行動となる言動の例を一つ作成し、その例における実質の狙いを説明せよ。

問五 波線部B「話し手の「暑いね」という言葉は、聞き手の応答とセットにして分析することで初めてその機能が明らかにになる。」とあるが、それはなぜか。その答えとして最も適切なものを次の選択肢から一つ選び、数字で答えよ。

① 言葉の機能は相手へ配慮する必要があるから。

② 言葉の機能は自分の発話の後で分析すべきだから。

③ 言葉の機能は自分の解釈だけで理解すべきだから。

④ 言葉の機能は他者との応答の中で規定されていくものだから。

⑤ 言葉の機能は複雑で相手との協議のうえで意味を確定しないといけないから。

問六 音声言語を未だ完全には獲得していない段階の赤ん坊は、言葉を話すことと同等の機能を持つ言動でコミュニケーションを取るが、それはどのようなものか。本文中の言葉を使って簡潔に説明せよ。

問七 波線部D「「ごんり」という言葉には周囲の聞き手が反応しないため、決してうまくいかないだろう。」とあるが、なぜうまくいかないのか。本文中の語句を用いながら簡潔に説明せよ。

問八 二重傍線部の「恣意的」という語句を使って、十五字程度で例文を一つ作成せよ。

問題二 次の各文の二重傍線部の語句の品詞名を数字で答えよ。

イ 赤ちゃんが笑う。
ロ 富士山がはつきり見える。
ハ 大きなタヌキが走っている。
ニ 静岡県および神奈川県で大雨が降る。
ホ さあ、そろそろ出発の時だ。
ヘ 人がたくさん集まる。
ト 庭に二羽ニワトリがいる。
チ 雨は止んだようだ。
リ 美しい花が咲いている。
ヌ あの鐘を鳴らすのはあなただ。

- ① 動詞
- ② 形容詞
- ③ 形容動詞
- ④ 名詞
- ⑤ 連体詞
- ⑥ 副詞
- ⑦ 接続詞
- ⑧ 感動詞
- ⑨ 助動詞
- ⑩ 助詞